

協定書を手にする及川組合長(左)と
瀬田工場長



登米の企業と生産組合

森づくり協定更新

登米市の登米村田製作所と米川生産森林組合は22日、「みやぎ里山 commons パートナーシップの森づくり」協定を更新した。期間は2021年1月まで。

登米市の登米村田製作所だ。登米市役所であった締結式には、同社の瀬田邦仁工場長、同組合の及川光雄組合長、加藤慶太郎東部地方振興事務所登米地域事務所長、布施孝尚登米市長らが出席した。

瀬田工場長は「ヤマザクラを2000本植樹した。見渡す限りの桜の森にした。い」、及川組合長は「社員との憩いの場となることを約束する」と述べた。

古里の豊かな自然次世代へ